

2019 年度(令和元年度)

学校関係者評価報告書

**学校法人 東北外語学園
東北外語観光専門学校**

2019年度（令和元年度） 学校関係者評価報告書

本校の学校関係者評価は、本校と関係のある学外の方を評価者として選任するとともに「学校関係者評価委員会」を設置して実施しております。委員会は学校評価を適切かつ客観性や透明性を高めて行うために、関連業界の関係者や本校卒業生等から複数で構成しております。

実施方法は、「自己評価」の結果を「学校関係者委員会」に報告し、関連業界の専門的な知見からのアドバイスや、様々な観点からご意見を頂戴して、教育活動並びに学校運営等の質の向上に努めていきたいと考えています。

2019年度「学校関係者評価委員会」を実施しましたので、下記通りご報告させていただきます。

1. 対象期間：2019年（令和元年）4月1日～2020年（令和2年）3月31日

2. 実施日時：2020年（令和2年）6月19日（金） 18:30～20:30

3. 実施場所：東北外語観光専門学校

4. 学校関係者評価委員会

【学校関係者評価委員】

曾根 洋明 氏 公立大学法人 宮城大学
基盤教育群 兼務 国際交流・留学センター
准教授 国際交流・留学センター 副センター長

三浦 清治 氏 東北外語トラベルセンター 所長

水上 奈央子氏 (有)八千代 杜のホテル仙台 社員

日出山 隆司氏 学校法人東北外語学園（同窓会幹事長※卒業生）

【事務局】

橋本 二郎 校長
赤間 吉雄 副校長・教務部長
橘内 秀中 法人本部長
佐藤 学 事務局長

5. 学校関係者評価報告

(1) 教育理念・目標

- ・特に意見、質問等はなし

(2) 学校運営

- ・就業規則の職員への周知方法について質問があった。本校では就業規則を共有サーバーに保管しており、職員が閲覧できるようにしていることをお伝えした。

(3) 教育活動

- ・語学分野のカリキュラムに関して、以前より「通訳・翻訳」系の科目が少なくなっているのではないかとのご指摘があった。インバウンドビジネスが活性化され、ボランティア通訳なども今後ますますニーズが高まっている環境の中で、それらに対応していくことが大切ではないかとのご意見を頂戴した。
- ・本校のように英語教育にこれだけ特化して授業を展開している学校は、東北、北海道を通じてあまりない。本校の強みを活かし、さらに教育内容を充実させていくために、「留学プログラム」に関して、編入学も見越した内容を検討してみてもどうかというご意見をいただいた。

(4) 学修成果

- ・英検の合格率についての質問があり、本校は筆記試験よりも面接試験の方が合格率は高いことを伝えた。リスニングやスピーキングに強いのは本校の特長であると考えられるので、さらにそこを伸ばしていけるようになると、これまで以上の成果が期待できるのではないかとアドバイスをいただいた。
- ・英検の認知度が毎年下がっていることもあるので、TOEICに絞り込んで指導していくのもいいかもしれないというアドバイスをいただいた。

(5) 学生支援

- ・課外活動については、レクリエーションでバスツアーやスポーツ大会などイベントを実施し、学生も楽しんでいるように見受けられるので大変良いことだと思うという感想をいただいた。

(6) 教育環境

- ・海外研修について、年々参加率が落ちているため経済的な側面はもちろんのこと、内容についても再検討が必要である旨を伝えた。委員の方からは海外で就業体験ができるプログラムを組み込んでみてはどうかというご提案をいただいた。

(7) 学生の受入れ募集

- ・入学後具体的にどんなミスマッチがあるのかとい質問があった。学びたいことと、実際に学ぶことにギャップがあった、他にやりたいことがあったが、親が決めたので入学したなど様々なケースがあることを説明した。
- ・本校の語学教育は、少人数制で豊富なネイティブスピーカー講師陣から学ぶことが特長であり、70年以上の実績とノウハウがある専門学校なので、その柱をしっかりと活かした広報活動をお願いしたいとの要望があった。

(8) 財務

(9) 法令遵守

(10) 社会貢献・地域貢献

(11) 国際交流

- ・特に意見、質問等はなし